

## 鎌倉時代を思う

日本の長い歴史の中であって、ここ鎌倉の地で源頼朝を創設者とする武家政権が誕生している。鎌倉幕府は150年もこの地を守り続けてきたのだ。失礼ながら現在の日本を見渡して鎌倉は、日本を代表する魅力ある都市とは決して言えない。では何故広い日本の地であって鎌倉に幕府が開かれたのか。

当時の時代背景に絶えず敵から防御を念頭に置いた地政学からであった。鎌倉の地形が北、東、西の三方が小高い山に囲まれ、そこに複雑な谷が存在している天然の要塞となっていたためである。そして南には相模湾に面した太平洋が存在する。更には多くの鎌倉幕府の中心者がもともと鎌倉に住んでいたことが大きな要因のようだ。



四季折々の植物が楽しめる花の長谷寺を訪れた。この寺は鎌倉時代からある古寺で、730（天平 8）年に創設されている。アジサイの花が有名な寺だと聞いて楽しみにしていたが、生憎時期が少々早かったようで咲いてはいなかった。もう少し後の梅雨の季節には約 40 種類 2500 株のアジサイが群生する。大きな頭を付けたこれだけのアジサイが咲き乱れると圧巻であるに違いない。更に秋には紅葉の名所でもある。夜間特別拝観ではライトアップされ、赤や黄色に染まる木々は幻想的な雰囲気醸し出してくれる。

境内の斜面を登っていくと広いスペースに見晴台があった。ここからは鎌倉の街並みや湘南の海が一望できる。暫し目をつむり鎌倉時代に思いを馳せてみた。それは激動の時代の日本史であった。この鎌倉幕府がなければ今日の平和な日本は無いように思えた。

撮影 2015 年春

